２　博物館実習

大学及び短期大学における博物館学講座の単位習得の一環として、博物館学を履修する学生を一時的に受け入れ、博物館現場における知識及び技能を修得させることにより、人材の育成を図ることを目的として例年実施している。しかし、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、前年度同様、県内大学に絞って募集を行った。各校に対しては，文化庁企画調整課博物館振興室より各大学宛に出された「令和３年度における学芸員養成課程に係る博物館実習の実施に当たっての留意事項について」に基づき、健康管理に留意することを徹底するよう伝えた上で開設の運びとなった。開設日時とカリキュラム、および受入先は次のとおり。

（実習担当者：森　万由子）

開設日時と内容

当初、８月16日（月）から20日（金）の計５日間を予定していたが、17日（火）に大雨により広島駅に接続するJRの一部列車が運休となったため、受講生の安全に鑑み終日休講とした。その代替として、18日（水）から20日（金）のカリキュラムを各日１時間延長し、計４日間として実施した。

８月 16 日（月）	９：30 ～ 10：00	オリエンテーション
	10：00 ～ 11：00	開講あいさつ・館長講話
	11：00 ～ 12：00	講座①「美術館と学芸活動」
	13：00 ～ 13：30	見学①　館内
	13：30 ～ 14：30	講座②「美術館の展示環境・展示手法」
	14：30 ～ 15：30	見学②「所蔵作品展」
	15：30 ～ 16：00	広報企画実習①（課題説明）
８月 18 日（水）	９：30 ～ 10：30	講座③「総務（全般・予算・広報）・施設管理について」
	10：30 ～ 11：00	ギャラリートーク実習①（概論）
	11：00 ～ 12：00	広報企画実習②（発表・ディスカッション）
	13：00 ～ 14：00	作品取扱い実習・調書作成①（工芸）
	14：00 ～ 15：00	講座④「対話型鑑賞」（講義と実践）
	15：00 ～ 17：00	ギャラリートーク実習②（企画立案）
８月 19 日（木）	９：30 ～ 10：30	作品取扱い実習・調書作成②（日本洋画）
	10：30 ～ 11：30	作品取扱い実習・調書作成③（日本画）
	11：30 ～ 12：00	見学③「藤子不二雄Ⓐ展」
	13：00 ～ 17：00	ギャラリートーク実習③（集約・制作）
８月 20 日（金）	９：30 ～ 12：00	ギャラリートーク実習④（発表準備）
	13：00 ～ 14：00	ギャラリートーク実習⑤（発表準備）
	14：00 ～ 15：30	ギャラリートーク実習⑥（発表）
	15：30 ～ 16：00	受講生ディスカッション
	16：00 ～ 17：00	振り返り

受講生所属大学

安田女子大学、県立広島大学、比治山大学、広島市立大学、広島女学院大学（５大学、計９名）

広報企画実習

大学生をターゲットにした、当館所蔵作品展の広報企画の立案を行う「広報企画実習」を新設した。初日にワークシートを配布し、まずは各自で企画案を考えてくることを課題とした。発表・ディスカッションにおいて、受講者は３班に分かれ、各々の案を他の班員と共有し、ブラッシュアップしたのち一つの企画とし班ごとに発表を行った。同年代ならではの視点で、充実した企画案が提示された。

ギャラリートーク実習

メインカリキュラムは、前年度までの「ギャラリートーク実習」を引き継ぎ、所蔵作品展で展示中の作品の中から対象作品を選定し、模擬的なギャラリートークを実施した。受講生は３班に分かれ、グループワークにより、各班で対象者、作品、対象者に合わせたトーク内容、ギャラリートーク全体のテーマを決定。各班ともにそれぞれ違った視点によるテーマ設定が行われ、充実した内容となっていた。各班のテーマ、対象者、作品は次の通り。

①	絵で見る動物・植物図鑑
	梶田半古《月下鶉図》、片田天玲《二月》、五代金城一国斎《高盛絵四季寄花硯箱》
②	黒の世界の動物たち
	寺田政明《生と死の凝視》、吉原英雄《版画集『ペットショップ』より　ガラスの向う側》、三代金城一国斎《菊雲鶴文食籠》
③	これな～んだ
	児玉希望《涅槃》、和高節二《仔牛》，綿谷行四郎《冠鶴》